

令和5年度 大正中央中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
			国語	数学	英語	国語	数学	英語
3 年	学校	51	61	33	31	6.3	18.6	9.1
	大阪市	—	67	49	44	5.2	11.0	6.6
4月18日	全国	—	69.8	51.0	45.6	4.6	9.6	5.7

令和5年度 大正中央中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

- ・調査したすべての教科の正答率が全国平均から大きく下回っている。
教科平均正答率(学校/対大阪市比/対全国比)
国語(**61**/0.91/0.87) 数学(**33**/0.67/0.65) 英語(**31**/0.70/0.68)
- ・また、平均無回答率からも、問題を最後まで取り組んでいない状況が伺える。

＜国語＞

- ・全国と比較して、全領域で平均正答率が下回っている。特に「読むこと」の領域においては、**-17.1P**と大きく離れている。

＜数学＞

- ・全国と比較して、全領域で平均正答率が大きく下回っている。特に「データの活用」においては、**-25.6P**と大きく離れている。

＜英語＞

- ・全国と比較して、全領域で平均正答率が下回っている。特に「読むこと」においては、**-17.5P**と大きく離れている。
- ・「話すこと」調査において、平均正答率は**5%**(全国 12.4%)と、大きく下回っている。

＜生徒質問紙より＞

- ・生徒の「自己有用感」「自尊感情」の項目が低く、「学校が楽しい」と回答している生徒の割合も低い。
- ・「1日の家庭学習時間」も少ない。
- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した生徒の割合は、**98.2%**と、全国平均よりも高い。

【今後に向けて】

本校の生徒は、①理解する力が弱く、自分で考えることが苦手 ②分らないところあきらめてしまう(集中力が持続しない) ③自信がないのか、発表など自らは行えない生徒が多い という課題がある。そこで、これまでの調査結果を参考にして学校教育改善「アクションプラン」を策定し、取り組み内容を明確化して、教育活動を推進している。

今年度も「生きる力・夢みる力の育成」を重点目標に、学力向上に関わり教育課程委員会を中心に、生徒一人ひとりの基礎・基本の学力を向上させるため具体策を講じている。また、子どもが子どもらしく学び、教師が教師らしく仕事をし、保護者が保護者らしく学校の挑戦に協力する「協同的な学習」を中心としての学校づくりをめざして取り組んでいく。

これまでの調査結果からも、本校の生徒はここ数年、すべての教科で正答率が低い傾向にある。この課題に対して、生徒が自分の考えを伝え合うことだけで終わらず、課題に向き合う活動を通して、**生徒が自分自身の考えの深まりを実感するための指導方法の工夫**とともに、**生徒の読解力の向上**に取り組んでいく必要がある。

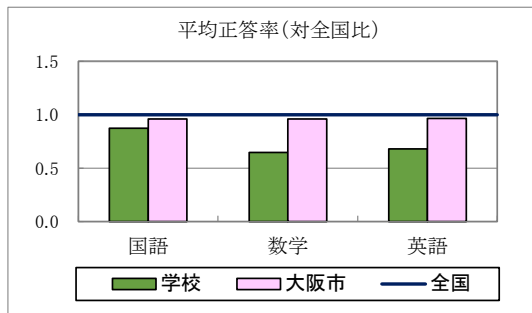
各種アンケート結果から「**生徒の自尊感情・自己有用感**」の項目や、「**学校が楽しい**」の項目が**他の項目よりも低い**ことがわかる。そのため**本物・一流に触れ将来の夢を抱く取組(大正中央Dream Project)**で進路選択や目標設定のきっかけとして、生徒の自尊感情・自己肯定感の向上を図っていく。

令和5年度 大正中央中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

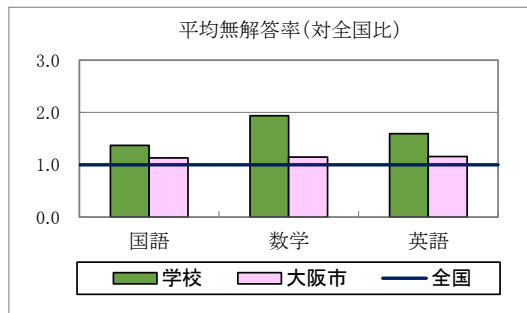
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)		
	国語	数学	英語
学校	61	33	31
大阪市	67	49	44
全国	69.8	51.0	45.6

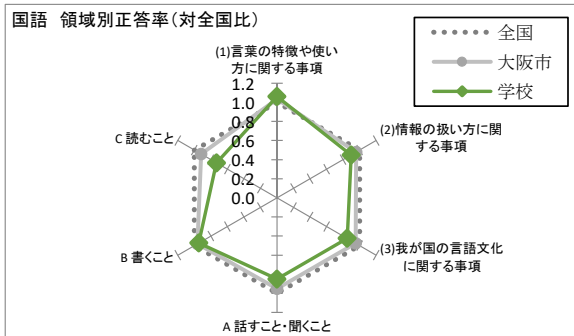
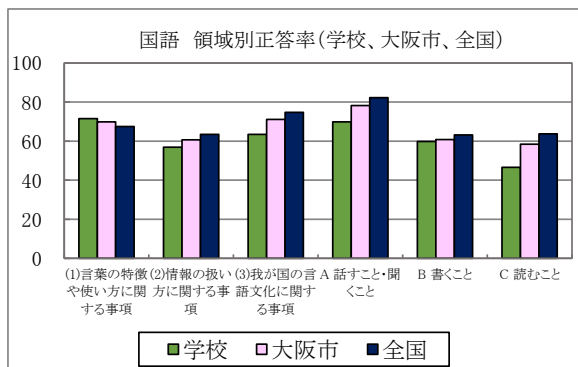


	平均無解答率(%)		
	国語	数学	英語
学校	6.3	18.6	9.1
大阪市	5.2	11.0	6.6
全国	4.6	9.6	5.7



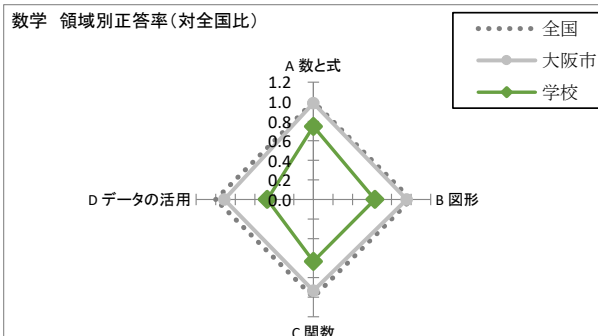
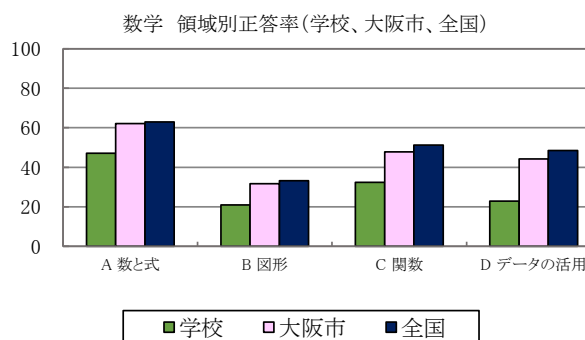
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	71.6	69.8	67.5
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	56.9	60.7	63.4
(3)我が国の言語文化 に関する事項	3	63.4	71.1	74.7
A 話すこと・聞くこと	3	69.9	78.2	82.2
B 書くこと	2	59.8	60.8	63.2
C 読むこと	4	46.6	58.5	63.7



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	47.1	62.1	63.0
B 図形	3	20.9	31.7	33.2
C 関数	4	32.4	47.8	51.2
D データの活用	3	22.9	44.2	48.5



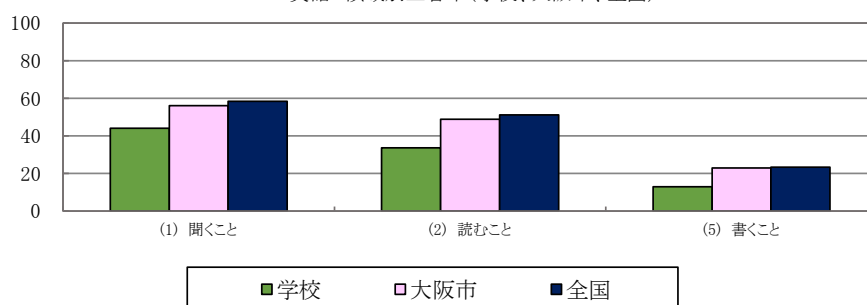
令和5年度 大正中央中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

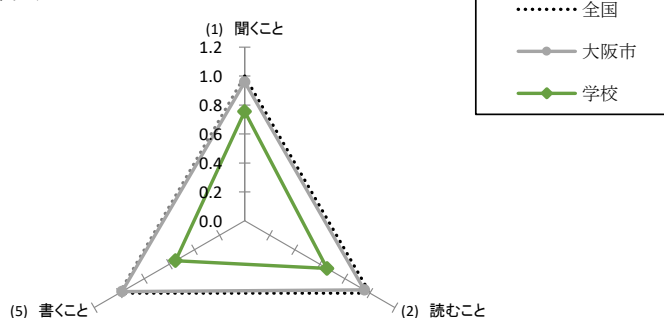
【英 語】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1) 聞くこと	6	44.1	56.0	58.4
(2) 読むこと	6	33.7	48.9	51.2
(3) 話すこと[やり取り]	0			
(4) 話すこと[発表]	0			
(5) 書くこと	5	12.9	22.9	23.4

英語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



英語 領域別正答率(対全国比)



令和5年度 大正中央中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

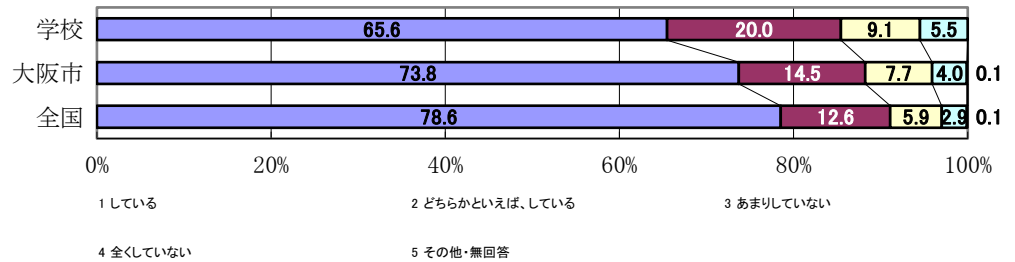
生徒質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

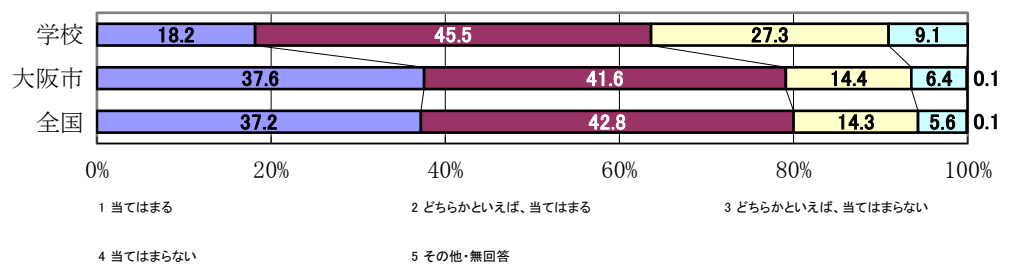
1

朝食を毎日食べている



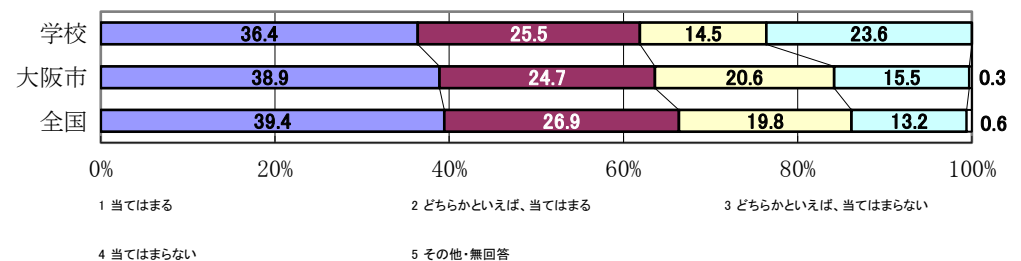
4

自分には、よいところがあると思う



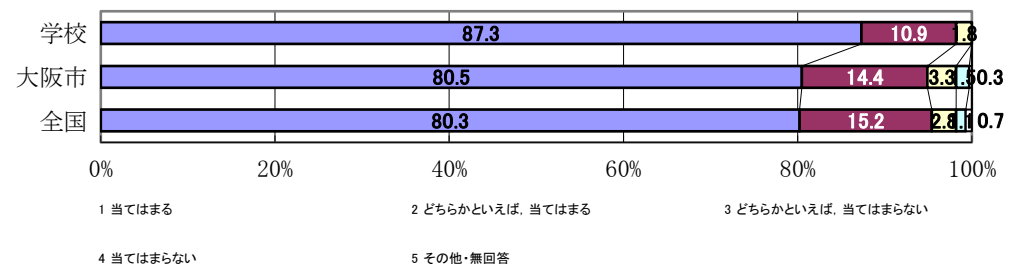
7

将来の夢や目標をもっている



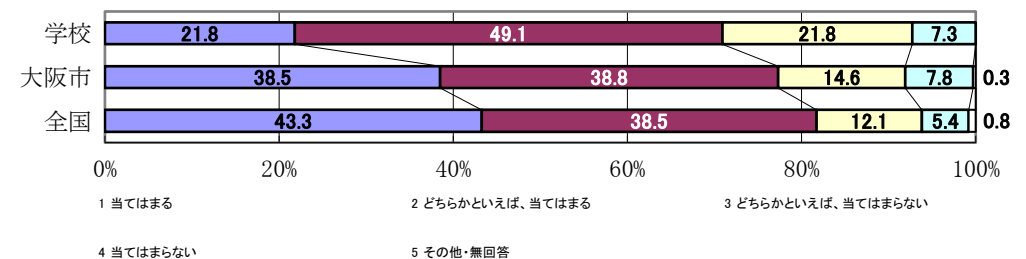
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う



12

学校に行くのは楽しいと思う



令和5年度 大正中央中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

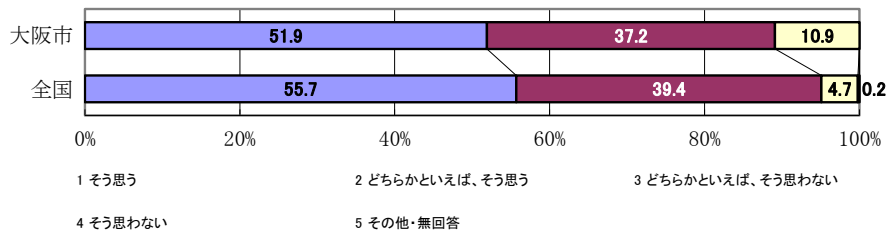
質問番号

質問事項

9

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いている

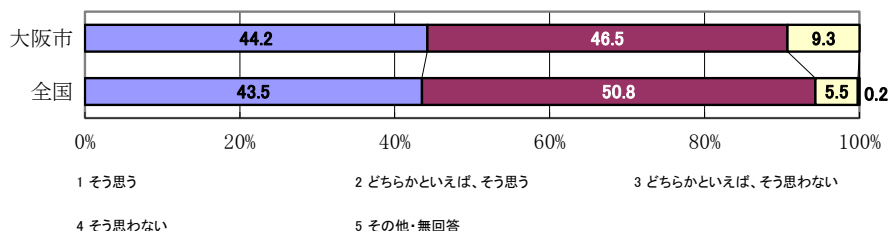
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



10

調査対象学年の生徒は、礼儀正しい

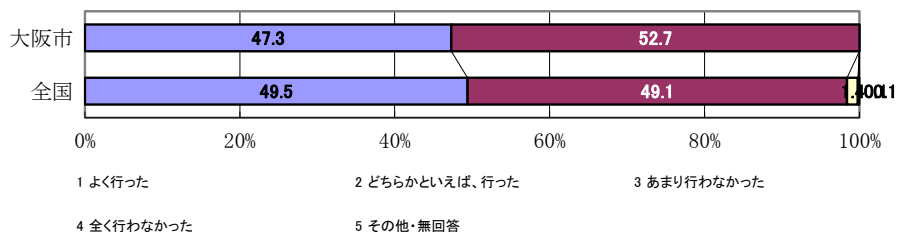
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



11

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした

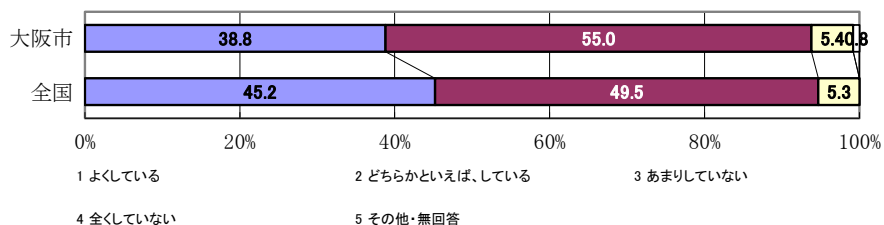
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



22

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っている

学校 「よくしている」を選択



23

生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っている

学校 「どちらかといえば、している」を選択

